

紫歲

桐の花むらさきにさきたるはなをおかしきを葉のひろごりさまうたてあれども、又こと木どもとひとしういふべきにあらず、もろこしにことべくしき名つきたる鳥のこれにしもすむらん心ことなり、ましてことにつくりてさまぐなるねの出くるなどおかしとはよのつねにいふべくやはある、いみじうこうはめでたけれ、

〔本草和名十三〕紫歲仁譜音威一名陵苕仁譜音條一名芟華仁譜音補未反一名陵霄仁譜音三名一名武威一名瞿麥、一名陵居腹、一名鬼目、一名及華、已上五名一名瞿麥根出雜要譜、華名橐藥出釋藥性和名乃宇世宇、一名末加也岐、

〔倭名類聚抄木十〕陵苕 本草云、紫歲、一名陵苕歲音條、和名末蘇敬注云、一名凌霄、

〔箋注倭名類聚抄木十〕證類本草引云、此卽凌霄花、又云、又名凌霄、本草和名云、一名凌霄出蘇敬注李時珍云、附木而上、高數丈、故云凌霄、則凌卽凌越之義、呂氏春秋論威篇云、雖江河之險凌之、注、凌越也、東京賦云、凌天地、薛注、凌升也、禮記樂記篇云、五者皆亂、迭相陵、正義云、陵越也、後漢書周黃徐姜申屠傳注云、陵升也、西京賦云、陵重巘、薛注、陵猶升也、是凌陵並訓越也升也、則作陵作凌兩通、然說文云、陵大阜也、凌欠出也、凌越也、三字不同、則越升之字作陵作凌、並假借也、

〔多識編蔓草〕紫歲、和名乃宇世牟、按乃宇世牟加豆羅、

〔重修本草綱目啓蒙十四〕紫歲ノ。セウ。和名マカヤキ。同上。ノ。ウゼンカヅラ。一名陵霄通志略

寄生花名物靈霄花本經傍牆花典籍便覽紫藤松江府志凌苕木藥性奇方勢客事物紀珠菱霄花外科

〔百效全書〕
菱華群芳譜

人家ニ栽ユ、山野ニモ自生アリ、藤蔓繁茂シ、木ニ纏ヒ高ク登ル、故ニ凌霄ト云フ、年久キモノハ蔓大ニシテ紫藤ノ如シ、多ク木ヲ枯ス、春新葉ヲ生ジ、兩對ス、形チ紫藤葉ノ如ニシテ、粗キ鋸齒アリ、深綠色、六七月一尺許ノ枝ヲ出シ、兩對シテ花ヲ開ク、形牽牛花ノ如シ、本ハ筒子ニシテ末ニ圓瓣